

静岡県 志太榛原圏域

退院が当たり前にできる 地域を目指して

志太榛原圏域では・・・

医療と福祉、行政が連携した地域移行支援体制の構築に取り組んでいます。

また、圏域の体制整備に関する課題に対してワーキンググループを設置し、顔の見える関係のもと実施しています。

1 志太榛原圏域の基礎情報

基本情報

市町村数（H29年3月末）	6市町村		
人口（H29年3月末）	459,373人		
精神科病院の数（H28年12月末）	2病院		
精神科病床数（H28年12月末）	373床		
入院精神障害者数 （H28年6月末）	3か月未満：62人（18.3%）		
	3か月以上1年未満：48人（14.2%）		
	1年以上：228人（67.5%）		
	うち65歳未満：136人		
	うち65歳以上：92人		
退院率（H28年6月末）	入院後3か月時点：81.1%		
	入院後6か月時点：94.6%		
	入院後1年時点：94.6%		
相談支援事業所数（H29年3月末）	基幹相談支援センター：6		
	一般相談事業所数：12		
	特定相談事業所数：19		
障害福祉サービスの利用状況 （H29年3月）	地域移行支援サービス：12人		
	地域定着支援サービス：10人		
（自立支援）協議会の開催頻度（H29年度）	4回／年		
精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた保健・医療・福祉関係者による協議の場の有無と数	障害保健福祉圏域	有	1カ所
	市町村	有	1カ所

※H29年3月時点

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた取組概要（全体）

- 平成28年度まで

圏域の体制整備に関する課題に対して4つのWGを設置

- ① ケース支援WG

事例に対して実際の地域移行支援を行い、支援の流れや課題を整理する。

- ② 医療と福祉と行政の連携WG

支援対象者へ地域移行支援に関する情報を届ける仕組みを作る。

医療、福祉、行政の現状を把握し連携体制を強化する。

- ③ 住宅確保WG

住宅提供業者へ普及啓発し、住宅確保のための仕組みを作る。

- ④ ぴあワーキング～協働～

ピアに関する普及啓発をし、ピアと協働するための体制整備を図る。

- 平成29年度から

- ① ケース支援WG、ぴあワーキング～協働～：継続

- ② 住宅確保WG：住宅斡旋の仕組み及びリーフレットを作成したため28年度末で解散。

- ③ 医療と福祉と行政の連携WG

支援対象者の掘り起こしを行うグループと、啓発およびポスターの効果検証を行うグループに再編。

- ④ 高齢者分野との連携を図るWGを新設

3 評価指標の設定状況

【静岡県全体】

指標名	H28時点	H29	H30	H31	H32
1年以上の長期在院者数	3,518人	3,244人	未設定		
入院後3ヶ月時点の退院率	57.8%	64%以上			
入院後1年時点の退院率	88.6%	91%以上			

【志太榛原圏域】

指標名	H28時点	H29	H30	H31	H32
地域移行支援利用者数	12人	H28年度以上	未設定		
地域定着支援利用者数	10人	H28年度以上			

【設定理由（根拠）】

- 地域移行支援の取組実施に係る指標であるため。

4 事業の進捗状況 ※平成29年9月末時点

① ケース支援WG

- ・ 支援対象者が退院したため、支援の流れや課題をまとめたうえでH28年10月末に解散。

② 啓発・効果検証WG

- ・ 支援者が個別支援の際に使用するリーフレットを作成。
- ・ 啓発用ポスター及び市町職員電話対応フローチャートの見直しについて検討中。

③ 対象者掘り起こしWG

- ・ 「地域移行支援に関する実態調査（対象：病院）」を実施（集計中）。結果を基に個別支援を進めていく。
- ・ 病院職員を対象にした院内研修会、入院患者を対象にした院内説明会を検討中。

4 事業の進捗状況 ※平成29年9月末時点

④ピアワーキング～協働～

- 「精神障害者の地域移行支援に従事するピアサポーターの雇用及び養成に関する意識調査」を実施（集計済）。
- 「ピア交流会」を実施。
- 11/20、27の2日間コースで「精神障害者ピアサポーター養成研修会」を開催予定。
- 「精神障害者ピアサポーター養成研修会」の結果を踏まえて「第2回ピア交流会」の開催を検討する。

⑤高齢分野連携WG

- 11/20に地域包括支援センター等を対象に研修会を開催予定。「精神障害者の特性に応じたサービスが提供できる従事者を養成するための研修プログラム及びテキストの開発について」報告書（厚生労働省平成27年度障害者総合福祉推進事業）の内容とする。

5 現時点での課題・悩み

- ピアサポーターが活動出来る場が確保されていない。ピアサポーターの養成から継続的に活動出来る場の確保に向けた体制整備について、他自治体の取り組みを知りたい。
- 高齢精神障害者の状況やその対応方法について、高齢者支援機関の理解が不足している。

6 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた平成29年度の取組スケジュール

平成29年度の目標

1. 圏域の体制整備に加え、実際に地域移行支援を給付する事例を増やす
2. 指定一般相談支援事業所においてピアサポーターの雇用を実現する
3. 高齢者支援機関との連携を強化する

時（月）	実施内容	担当
H29年		
4月	ピアサポーターの雇用及び養成に関する意識調査	保健所
5月	第1回地域移行・地域定着支援専門部会	保健所
6月	地域移行支援に関する実態調査（入院患者実態調査）	保健所
8月	ピア交流会	WG
10月	第2回地域移行・地域定着支援専門部会	保健所
11月	精神障害者ピアサポーター養成研修会	WG・保健所
12月	高齢分野連携研修会（第3回地域移行・地域定着支援専門部会）	WG
2月	第4回地域移行・地域定着支援専門部会	保健所
随時	事務局会議、ワーキンググループ他	